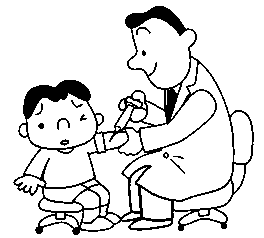




おたふくかぜ予防接種をご希望の方へ

～必ずお読みください～



【助成対象の方】 益子町内に住所があり、1歳～小学校入学前の3月31日までの方

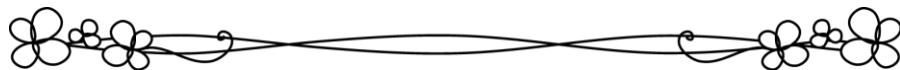
【助成回数】 1回 【接種場所】 芳賀郡市内医療機関

【助成金額】 接種費用のうち**6,000円**を町が負担します。

※予防接種の金額は医療機関により異なります。

接種費用から助成金額（6,000円）を差し引いた額を医療機関へお支払いください。

【申し込み】 接種の前に医療機関へ予約してください。



1 免疫について

おたふくかぜの感染者は小学校低学年や幼稚園の子供たちに多くみられます。一度おたふくかぜにかかったひとが耳下腺炎^{じかせんえん}を起こす例も再発性耳下腺炎として報告されていますが、おたふくかぜウイルスの感染によるという確実な証拠はありません。

予防接種を受けた人のほとんどに免疫ができます。しかし、抗体が低下する症例が報告されており、ワクチンの有効率は90%前後ではないかと考えられます。小さい頃におたふくかぜにかかった場合、特徴的な症状を示さない、いわゆる不顕性感染^{ふけんせいかんせん}で終わる例もあります。既に抗体のある人にワクチン接種を実施しても問題はなく、免疫は高められます。

2 ワクチンの効果と副反応

①おたふくかぜワクチンの効果

おたふくかぜワクチンは弱毒生ワクチンで、身体の中でワクチンウイルスが増え、抗体ができます。抗体はワクチン接種を受けた90%前後の人にでき、おたふくかぜに対する免疫はワクチン接種後、2週間からできます。おたふくかぜの潜伏期間にワクチン接種を受けても、特におたふくかぜの症状が重くなるようなことはありません。

②おたふくかぜワクチン接種後の副反応

おたふくかぜワクチン接種後2～3週ごろに、発熱、耳下腺のはれ、嘔吐、咳、鼻汁等の症状があらわれることがあります。これらの症状は通常、数日中に消失します。

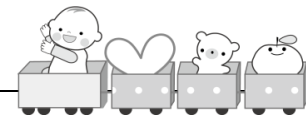
接種後3週間後に、発熱、頭痛、嘔吐等の症状が見られる無菌性髄膜炎^{むきんせいずいまくえん}が数千人に1人程度の頻度、接種後数日から3週間後に紫斑^{しはん}、鼻出血、口腔粘膜出血等^{くわつしょうぼんげんしょうせい}の症状が見られる血小板減少性紫斑病^{しはんびょう}が100万人に1人程度の頻度で、また、頻度は不明ですが、急性散在性脳脊髄炎^{きゅうせいさんざいせいのうせきずいえん}や脳炎・脳症があらわれることがあります。まれに難聴、精巣炎があらわれたとの報告があります。

接種後（30分間程度）にショック、アナフィラキシー様症状（じんましん、呼吸困難、血管浮腫等）がまれにあらわれることがあります。

3 予防接種を受けるときの注意

- ① ワクチンについて不明な点は、予防接種を受ける前に医師に相談しましょう。
- ② 受ける前日は入浴（またはシャワー）をして、体を清潔にしましょう。
- ③ 当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください。
- ④ 清潔な着衣をつけましょう。
- ⑤ 予診票はお医者さんへの大切な情報です。正確に記入するようにしましょう。
- ⑥ 必ず母子手帳・予診票をお持ちください。





4 次の方は接種を受けないでください

- ①明らかに発熱している方（37.5℃以上）
- ②重い急性疾患にかかっている方
- ③本剤の成分〔カナマイシン、エリスロマイシン（抗生物質）等〕により、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- ④医師より免疫不全等の診断を受けた方または免疫抑制をきたす治療を受けている方
- ⑤その他、医師に接種が不適当な状態であるという診断を受けた方

5 次の方は接種を受ける前に、主治医とご相談ください

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの基礎疾患がある方
- ② 発育が遅く、お医者さんや保健師さんの指導を継続して受けている方
- ③ カゼなどのひきはじめと思われる方
- ④ 予防接種を受けたときに、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた方
- ⑤ 薬の投与または食事で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある方
- ⑥ 今までにけいれんを起こしたことがある方
- ⑦ 過去に免疫不全と診断されたことがある方や近親者に先天性免疫不全の人がいる方
- ⑧ 家族、遊び友達、クラスメートのあいだに麻しん（はしか）、風しん、おたふくかぜ、水痘（みずぼうそう）などの病気が流行しているときで、まだその病気にかかったことがない方

6 接種を受けるときに

おたふくかぜワクチンの接種は任意接種ですので、ワクチンの効果や副反応をご理解いただいたうえで、ワクチンの接種を受けるかどうかをお決めください。

本剤の接種により健康被害が発生した場合には「医薬品副作用被害救済制度」により治療費等が受けられる場合があります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ、または町保健センター（☎70-1121）までお問い合わせください。

ワクチンの接種の際には、「おたふくかぜ予防接種予診票」に正確に記入し、母子手帳と共にお持ちいただき、医師の問診、診察をお受けください。その際、元気がない・かぜ気味など、ふだんと変わったことがあった場合には、医師にご相談ください。

7 接種を受けたあとの注意

- ① 接種後30分間はお子様の様子を観察し、アレルギー反応などがあればお医者さんとすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ② 接種後2～3週間は、副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- ④ 接種当日は接種したところを清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう。激しい運動は避けましょう。
- ⑤ 高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかにお医者さんの診察を受けてください。



【お問い合わせ】
益子町保健センター ☎70-1121

